繊研新聞　2024年（令和6年）1月5日　金曜日　企画　（6）

Challenge ●挑戦　〈ゴルフ用ブラジャー開発秘話〉

スポーツ×下着、機能と美しさ両立

専門性を掛け合わせ化学反応を起こす

ゴルフブランド「パーリーゲイツ」（TSI）と機能性コンディショニングウェアブランド「CW-X」（ワコール）が協業し、ゴルフシーンに適したブラジャー（ゴルフ用ブラ）を開発した。ゴルフアパレルと下着。それぞれに専門性を持つ、異なるジャンルを手掛けるメーカー同士が組むことでどんな化学反応が起きたのか。「ファッションと機能の両立」を巡る舞台裏を、開発に関わった村上菜月さん（TSIウェルネス&ライフスタイルディビジョン第一事業部パーリーゲイツセクションデザイナー）と、大塚明日美さん（ワコール商品本部第4ブランドグループウエルネス営業部商品企画課）に聞いた。

▶4月に発売するゴルフ用ブラ（税抜き8000円）。ブラジャーの縫い目を持たながらゴルフ特有の動きに対応しやすいデザインに。ゴルフウエアとしても着用できる（村上さん）

対談

協業品の開発を主導した左TSIの村上さん（左）とワコールの大塚さん

「ブラジャーの顔」を持つ

――開発にあたり念頭に置いたことは。

村上　スポーツブラについて女性ゴルファーから話を聞くと、「一日中着けているには締め付けが強過ぎる」と言われることがあります。だからパーリーゲイツとしてゴルフ向けのブラを出すなら、「スイング時にずれたりしないといった機能を備えつつ、おしゃれで可愛らしく、ゴルフのマナーを守ることができる品のあるデザインが良いと思っていました。

大塚　求められたのは、ゴルフに特化した機能がありながら、見た目はブラジャーの華やかさや繊細さを残すことです。ワコールではこれまで、揺れの軽減やズレにくさに重きを置いたスポーツブラは作り続けてきましたが、「普通のブラジャーのように美しい雰囲気で、かつゴルフに必要な機能を備える」というのはまったく新しいコンセプトで、正直戸惑いました。「機能性を残しつつ、優しく見える素材って何だろう？」と、ただ闇雲に知り合いのゴルフ好きの女性たちから、「しっかりしたスポーツブラを一日着用して、ラウンド後にみんなで食事をしたり、買い物をしたりするのはしんどい」「普段下着の時にスポブラを着ている人は、ゴルフ用ブラを着ても違和感がないのでは？」などの意見を聞きました。

脇肉を押さえて透かす

――こだわりのポイントを。

村上　サイドの部分（テンションの異なる生地を複数使うことで、脇のお肉をうまく押さえて、ブラの上にそれが乗っからないようにしています。こうすることでポロシャツを着た際にきれいに見えます。

大塚　通常のスポーツブラですと、サイドの生地の上にレースがしかしたテープを付けて、一体感を作りながら脇肉を押さえる作りが多いのですが、それだと一定期間着用して締め上がったお肉が乗っかってしまいます。そこで、あえて上部分にテープを付けず、柔らかい生地を二つ折りにして安定性を担保して脇肉を支えつつ、お肉をうまく「透かす」ようにしました。その一方でゴルフ特有の捻じる動きで胸がずれず、体の動きに追随するキックバックの強いテープを下部に使っています。

村上　ダーツを入れる位置なども試験しました。

着用感と見た目のバランスを妥協することなく話し合った

商品開発の選択肢増えた

――振り返って、開発経験させる大変だったのは。

村上　パーリーゲイツはアウター、ワコールはインナーを主に手掛けているため、それぞれで勝手が違うことが多々ありました。こちらとしては、こういうことはできるだろうと思い込んでいたところがあるも、前提を疑問・すり合わせる作業に時間を要した印象です。

大塚　見た目と機能性を合わせることですね。ワコールではこれまで、掛けるラバレルよりブラちゃん、ゴルフの使用に限定しないアイテムを作ることも可能です。

大塚　CW-Xという、競技に真剣に取り組むスポーツブランドのイメージがありますが、今回のゴルフブラを通じてゴルフはもちろん、ファッションも楽しみたい」というパーリーゲイツのお客様に、私たちの技術や商品の良さを知っていただける機会となると思います。私たちだけではアプローチできないお客様に対し、パーリーゲイツを通じて知っていただけるのは、ありがたいことです。

「パーリーゲイツ」の今冬物

に強い込み、ブラの立体感を作るには力ップに入れるタイプが必要です。しかし、それがポロシャツにあたって、見えてしまうことがありましたので、ダーツの入る位置・長さ・角度・縫い方を色々と試してみました。例の見えのバランス・落ちどころを、話し合って決めていきました。

――協業で得たことは。

村上　直接肌に触れるアイテムとして求められる機能や品質が、思った以上に厳しく、またその分、しっかりした物作りをされていることを知りました。また、我々が手掛けるブラちゃんが、ちょっとした変更もミリ単位となり、繊細な部分に対して気配りがされていて、勉強になりました。

なスポーツブランドのイメージがありますが、今回のゴルフブラを通じてゴルフはもちろん、ファッションも楽しみたい」というパーリーゲイツのお客様に、私たちの技術や商品の良さを知っていただける機会となると思います。私たちだけではアプローチできないお客様に対し、パーリーゲイツを通じて知っていただけるのは、ありがたいことです。

村上　私は普段、カットソーアイテムのデザインを担当しているのですが、インナーというくくりでもパーリーゲイツとしての新たな提案ができるよう組めては、見た目の良さと着心地の良さを両立するような機能素材を色々と試験しました。その中で、この材料なら意外とスポーツに使えそう」といった新たな発見が多々あったんです。今後、商品開発をする上で選択肢がたくさん増えたと思っています。

大塚　パストをきれいに強調させる物作りを目指してきましたが、今回は「テープを細く」「縫製をこうやって」といった要望を受けながら、スポーツブラとしての機能性も求められていました。

村上　私は普段、カットソーアイテムのデザインを担当しているのですが、インナーというくくりでもパーリーゲイツとしての新たな提案ができるよう組めては、見た目の良さと着心地の良さを両立するような機能素材を色々と試験しました。その中で、この材料なら意外とスポーツに使えそう」といった新たな発見が多々あったんです。今後、商品開発をする上で選択肢がたくさん増えたと思っています。

――今回協業が既存事業にもたらす効果は。

大塚　昔見の築地でこれだけ繊細な資材の使用を検討することはあまりません。しかし今回の取り組みでは、見た目の良さと着心地の良さを両立するような機能素材を色々と試験しました。その中で、この材料なら意外とスポーツに使えそう」といった新たな発見が多々あったんです。今後、商品開発をする上で選択肢がたくさん増えたと思っています。

村上　ダーツを入れる位置なども試験しました

■TSIパーリーゲイツ企画責任者
酒井昭征さん

パーリーゲイツは「カラフルで元気でポップ」というイメージが強いですが、ワコールの展示会で女性らしいきれいなペールトーンを見て、「パーリーゲイツのロゴがこんな色になったら素敵かも」と思い、（19年以来となる2度目の）協業をオファーしました。ワコールは長く脚と向き合い、日本人女性の脚を知り尽くしている会社。そこが手掛けるCW-Xと組むことに意味があると思っています。

パーリーとして、ゴルフ用ブラそのものを定番化したいですね。インナーはファッションにとってベースとなるアイテムで、ブランドにとって欠かせません。ゴルフブームが一段落し、新規のお客様が減っている一方で、根強い顧客はたくさんいらっしゃいます。だからこそ、ブランド誕生35周年を迎える24年は、パーリーゲイツがこれまで手掛けてこなかった新しいアイテムに挑戦し、顧客の満足度を高めていきたいと思っています。

新しいアイテムに挑戦したい